

# 奈良公園での巨木観察会

## 活動記録



担当 2班

【開催日】：2021年12月24日（金） 【天気】：晴れ

【参加数】：73名

【集合場所】：近鉄奈良駅 行基像 周辺 AM10:00 集合  
A・B・C、3グループに分かれ、それぞれ  
5分間ずつあけて出発。

【行程】：近鉄奈良駅 ➡ 興福寺周辺 ➡ 春日大社周辺  
➡ 近鉄奈良駅 （14:00頃解散）



### 幹周りの測定

巨木とは、地上1.3mの幹周りが  
3m以上のもの（環境省定義）

東大寺、春日大社、興福寺等歴史的文化遺産が多い奈良公園  
ですが、歴史を重ね数百年を生きている巨木が沢山あります。

12月の寒さ厳しい時季ですが晴れの、暖かい日差しの中、  
ボランティアガイドさん、担当班員の方々、先生の説明等  
実際に手に触れてみた葉や、巨木の幹周りの測り方等たくさんの  
事を教わりました。ディアライン（鹿摂食線）も美しいです。



サイカチ種



クスノキ（明治天皇ご来臨の記念樹）幹周り4.80m・樹高26m・  
樹齢 約120年（推定）3本あり



クロマツ（奈良公園で一番太い）  
幹周り3.54m・樹高28m  
樹齢 約250年（推定）



ムササビ  
が食べた  
後のマツ  
ボックリ  
（エビフ  
ライ）



サイカチ（マメ科）幹や枝  
には分岐したトゲがある



ムクロジ（中が空洞と思われ  
近くのモウソウチクが地下  
茎を伸ばして頭を出している）



クスノキ 幹周り7.07m・  
樹高23m・樹齢不明



エノキの根

所感・自然講座の受講生に戻ったみたいで楽しかったです。

・記録した用紙が5cm程、出ていたのを上手に引き出し、あれよあれよという間に鹿が食べてしまいました。鹿のお腹が気になりましたが大丈夫そうだとこの事に一安心です。